

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和07年01月20日

計画の名称	(第3期)安心して快適に暮らすことができる市街地の形成												
計画の期間	令和07年度 ~ 令和11年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	奈良市												
計画の目標	本市においては、秩序ある市街地整備により、スプロール化を防ぎ、安全で良好な住宅地の形成を進めている。JR関西線により分断され、大部分が農地であったJR奈良駅南地区では、ミニ開発による宅地が混在するスプロール状態になりつつあり、連続立体事業とともに土地区画整理事業によって、公共施設の整備を行い良好な居住環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	602	A	602	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5末	R9末	R11末
1	道路・公園等の公共施設を整備し、良好な居住環境を創造することで宅地の利用増進を図り、居住人口を増加する。 地区内の居住人口を集計する。	1110人	1180人	1310人
2	道路・公園等の公共施設を整備し、良好な居住環境を創造することで宅地の利用増進を図り、居住人口を増加する。 防犯安全度 = 照明施設の設置道路延長 ÷ 地区内の全道路延長	60%	64%	73%

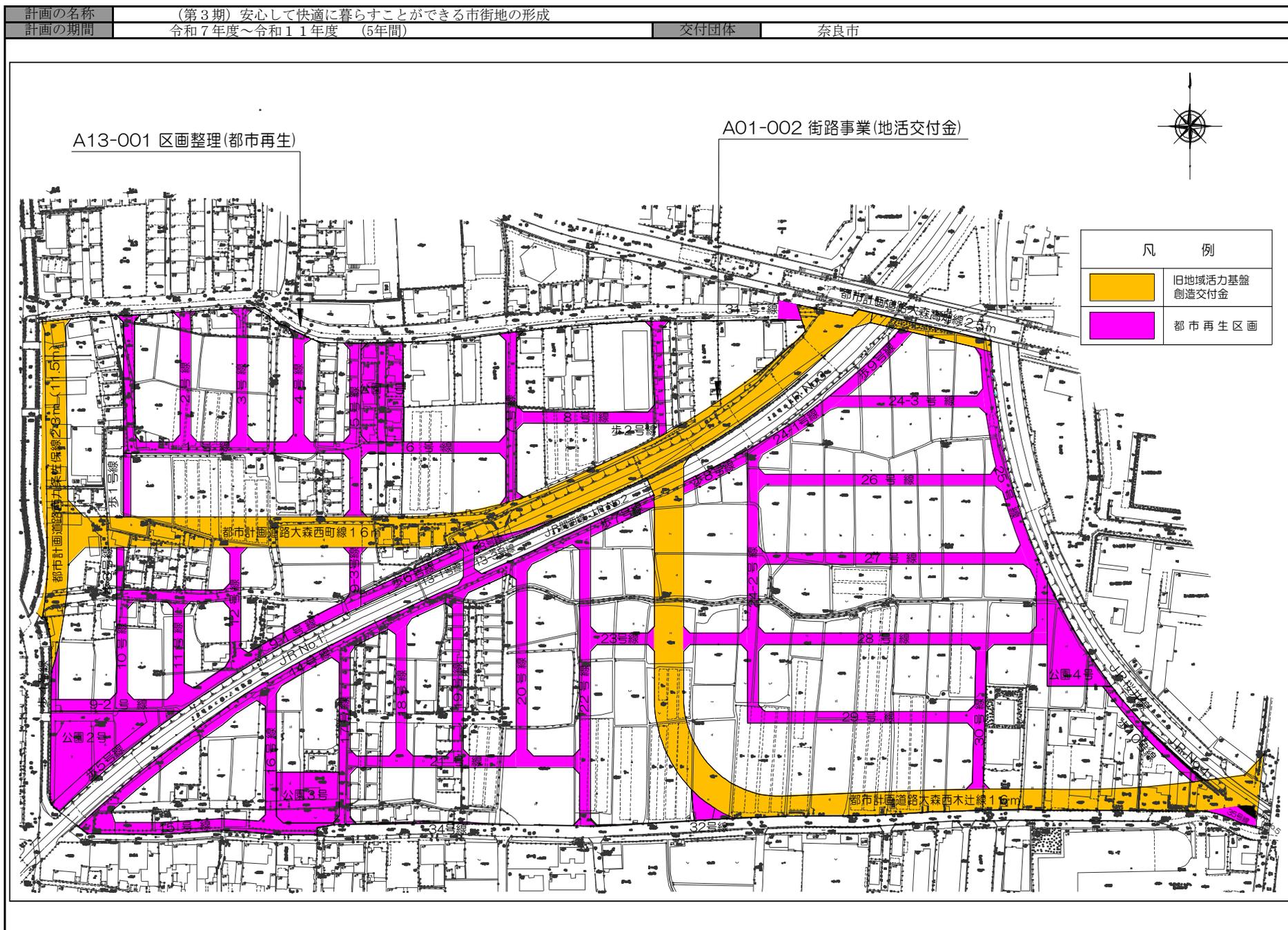
備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R07	R08	R09	R10	R11			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	奈良市	直接	奈良市	-	-	JR奈良駅南特定土地区画 整理事業	都市再生区画整理 A = 14.6h a	奈良市						241	-	
											小計						241		
											合計						241		

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R07	R08	R09	R10	R11			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-002	街路	一般	奈良市	直接	奈良市	区画	改築	JR奈良駅南地区((都) 大森西町線ほか2線)	区画整理 A=14.6ha	奈良市						361		-
											小計						361		
											合計						361		

参考図面（社会資本整備総合交付金）



## 事前評価チェックシート

計画の名称：（第3期）安心して快適に暮らすことができる市街地の形成

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

